

Title	大阪外国語大学論集 36 原稿寄稿要領
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学論集. 2007, 36
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/80032">https://hdl.handle.net/11094/80032</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 「大阪外国語大学論集」原稿寄稿要領

1. 「大阪外国語大学論集」は、本学教員による研究結果を掲載・発表することにより、学術研究の発展に寄与するものである。
2. 寄稿者は本学教員、非常勤講師及び元教員とする。
3. 研究推進室は原稿を募集し、編集部門が査読結果に基づき、その採否を審議して決定する。
4. 内容は未発表の①学術論文、②研究ノート、③資料（翻訳を含む）、④書評論文で、翻訳については翻訳権等の問題に接触しないものとする。
5. 原稿は400字詰原稿用紙にして学術論文、研究ノート及び資料100枚、書評論文は30枚以内、外国語原稿の場合はA4サイズ用紙にダブルスペースで30枚以内とする。なお、ワープロ使用の場合はフロッピーディスクやCD-Rなどに原稿データを添付すること。
6. 学術論文及び研究ノートについては、日本語原稿の場合は外国語による要旨（300語程度）を、外国語原稿には日本語による要旨（400字程度）を付すものとする。また、日本語・英語以外の言語による原稿については、資料・書評論文においても、日本語の要旨を付すものとする。  
なお、日本語・英語以外の言語（査読者が限定されるような言語）を使用する寄稿の場合は、上記とは別に査読者用に概要（英語又は日本語）を添付すること。
7. 提出原稿は完成稿とし、分載・連載は認めない。校正は字句の訂正のみにとどめ、大幅な加筆修正は認めない。
8. 執筆者校正は原則として再校までとし、編集部門の指示に従うものとする。
9. 特殊製版（図表・写真版・特殊文字等）の費用は、執筆者の負担となる場合がある。
10. 抜刷は50部を超えて希望する場合は執筆者の負担とする。
11. 二編以上を寄稿する場合は、優先順位をつけて提出し、その採否は編集部門に委ねるものとする。但し、総枚数は400字詰原稿用紙150枚を超えないこと。

12. その他執筆にあたっては以下の点に留意するものとする。
- \* 氏名の外国語表記は姓、名の順とする。  
(例：G A I D A I H a n a k o)
  - \* 日本語原稿には外国語のタイトルを、外国語原稿には日本語のタイトルを付す。
  - \* 要旨については、本文冒頭に付す。
  - \* 『注』は両カッコ (例:(1), (2), (3), …)を用い、本文右肩に付し後注とする。
13. 本学では、国立情報学研究所が行う学術雑誌公開支援事業に参加するため、執筆者が保有する著作権の内「複製権 (※1)、公衆送信権 (※2)」の行使を大学に委託願います。

#### 学術雑誌公開支援事業

国内の大学等が発行する研究紀要の電子化、公開の支援を通じて大学等の情報発信を支援する事業です。(http://www.nii.ac.jp/nels/)

- (※1) 複製権とは著作物を有形的に再生することに関する権利です。  
研究紀要の電子化・公開の場合、冊子体を電子化することは、複製に当たります。  
また、電子化したデータをサーバのハードディスクへ保存することも複製に当たります。
- (※2) 公衆送信権とは著作物を公衆向けに「送信」することに関する権利です。  
インターネットなどを通じたサーバからの「インタラクティブ送信 (自動公衆送信)」の場合には、送信のためにサーバへデータをアップロードすることも含まれます (送信可能化権)。  
研究紀要ポータルではインターネットを通じて不特定多数の利用者への公開を行いますので、公衆送信に当たります。